

(6) 木曾地域 ～ 未来につながる木曾の豊かな農業・農村と食 ～**■ 達成指標**

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	実績 (2022(R4)年)	計画 (2024(R6)年)	目標 (2027(R9)年)
1	地域計画の数	0	0	22	22
	新規就農者数(49歳以下)	3人	0人	2人	2人
2	米の1等米比率	78.9%	78.3%	83%	85%
	御嶽はくさい栽培面積	50ha	50ha	48ha	45ha
	木曾子牛出荷頭数	5.7頭/戸	5.9頭/戸	5.9頭/戸	6.0頭/戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.3ha	2.4ha	2.4ha
3	野生鳥獣被害額	12.8百万円	11.7百万円	12.3百万円	11.8百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	489ha	489ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	167.4kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数(木曾牛、すんき、木曾産そば)	57店	57店	58店	60店
	伝統野菜の栽培面積(王滝蕪他6品種)	2.1ha	1.9ha	2.1ha	2.1ha

重点取組 1 : 多様な担い手が支えあう木曾の農業・農村

- 地域の関係者が一体となって話し合い、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定・実行を支援
 - ・関係機関の連携による町村毎の「協議の場」の開催による意見集約。
 - ・農業委員会等の農地最適化活動による目標地図の作成と公表(22地区)。
- 就農相談会、移住・定住フェア等での木曾農業の情報発信、PRによる担い手確保対策の推進
 - ・就農相談会等参加や個別相談対応による新規就農者の確保(相談会1回以上)
- 新規就農里親研修事業等を活用した新規就農者の育成
 - ・農業次世代人材投資事業等の活用による新規就農者の育成支援(新規1～5年目就農者5名)
- 農業入門講座の開催による定年帰農者等への支援
 - ・農業入門講座の開催による直売所等への農産物出荷者の増加。(定年帰農者等3名以上)
- 高校と連携した食の魅力発信と、高校生の就農への意欲を向上
 - ・木曾青峰高等学校と農業者の連携による「農業の魅力発見セミナー」の開催。高校生の地域農業や地場産品の魅力の理解推進(講座3回)

重点取組 2 : 木曾ブランドを支える産地づくり(土地利用作物、園芸品目、畜産振興)

- 斑点米カメムシ類の病害虫防除組合のドローンによる適期防除支援と生産者への防除基本技術の徹底、及び収穫適期情報の提供による適期収穫の推進で1等米比率向上
 - ・斑点米の減少に向けたドローン防除と地上防除を組み合わせた防除効果の検証。
 - ・カメムシ発生情報の提供による防除の啓発。登熟積算気温情報に基づく適期収穫の啓発。(7~8月)
- スマート農業技術等の導入による御嶽はくさいの品質及び生産性の向上
 - ・土壌診断に基づいた適正施肥による減肥の検証(木曾町他2箇所)(6月~10月)
 - ・排水性調査と土壌診断による土づくりの推進(6月~11月)
- 畜産クラスター協議会と連携したクラスター事業の推進
 - ・郡内畜産クラスター協議会における補助事業(機械導入事業、施設整備事業、生産基盤拡大加速化事業)を活用した畜産農家の経営発展(5協議会)
 - ・繁殖和牛の飼養管理技術向上を目的とした講習会の開催(冬期に1回)
- 地域に適応した花き・花木の生産支援
 - ・啓翁桜早期出荷に向けた管理指導(大桑村)
 - ・新規花木品目(5品目)の生育状況調査と出荷方法の検討による栽培マニュアルの作成(上松町、王滝村、大桑村)

重点取組3：みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

- 関係者一丸となった捕獲、防除、環境整備等の野生鳥獣被害対策の推進
 - ・鳥獣被害防止対策交付金事業の活用と、既設の電気柵及び侵入防止柵の点検巡回による被害軽減の推進(6協議会)
 - ・電気柵等の適切な設置及び獣害駆除に向けた講習会の開催(冬期1回)
- 多面的機能支払及び中山間直接支払事業の一層のPRによる取組拡大と活動支援
 - ・取り組み組織数の維持及び新たな取り組み拡大のための制度周知と活動の支援(23組織)
- 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
 - ・事務手続きに関する研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催(2回)
- 農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援
 - ・管理運営方法等研修会への参加と各種調整における技術的な支援(木曾町他)

重点取組4：木曾ならではの食による地産地消と食育の推進

- 「木曾ならではの食材」を扱う店舗と連携した木曾地域の魅力発信
 - ・関係団体等と連携した伝統食材の魅力発信方法の検討
- 担い手不足や形質の保存等生産組織ごとの実情に応じた伝統野菜の継承支援による栽培面積の維持
 - ・根こぶ病の軽減に向けた土壌分析等に基づく土づくり、防除方法等の勉強会の開催(王滝村1回)
 - ・赤かぶの採種及び栽培状況把握のための定期巡回の実施(6品種)
- 小中学校を対象とした食育授業等による地元農産物への理解促進と地産地消
 - ・関係団体等と連携した食育授業の実施